

はじめて <sup>こくりつ</sup> 国立アイヌ民族博物館に <sup>い</sup> 行く わたしのための

# あ ん し ん ガ イ ド



きょう <sup>こくりつ</sup> 今日 国立アイヌ民族博物館に <sup>い ひ</sup> 行く日です。

<sup>い まえ</sup> 行く前に これを <sup>よ</sup> 読めば、わたしは <sup>あんしん</sup> 安心して

<sup>はくぶつかん</sup> 博物館に <sup>い</sup> 行くことができます。

しらおいえき  
白老駅から 行くには



しらおいえききたぐち  
白老駅北口を 出た ところ



しらおいえき      こくりつ      みんぞくはくぶつかん      い  
白老駅から 国立アイヌ民族博物館に 行くには  
ぶん      ある  
10分くらい 歩きます。

とちゅう      きかんしゃ      みせ  
途中には 機関車や お店が あります。

おうだんほどろ      くるま      き  
横断歩道では 車に 気をつけて わたります。

ウポポイの <sup>ちゅうしゃじょう</sup> 駐車場から <sup>い</sup> 行くには



<sup>くるま</sup> 車から <sup>お</sup> 降りたら

<sup>ちゅうしゃじょう</sup> 駐車場から <sup>いりぐち</sup> 入口に <sup>む</sup> 向かって <sup>ある</sup> 歩きます。

ウポポイに <sup>はい</sup> 入るために チケットを <sup>か</sup> 買います



はくぶつかん  
博物館は ウポポイの <sup>なか</sup> 中に あります。

ウポポイに <sup>はい</sup> 入るために チケットを <sup>か</sup> 買います。

チケットの <sup>かね</sup> お金は いらないときも あるので  
わからないときは スタッフに <sup>き</sup> 聞きます。

スタッフに チケットを <sup>み</sup> 見せて ウポポイに <sup>はい</sup> 入ります。

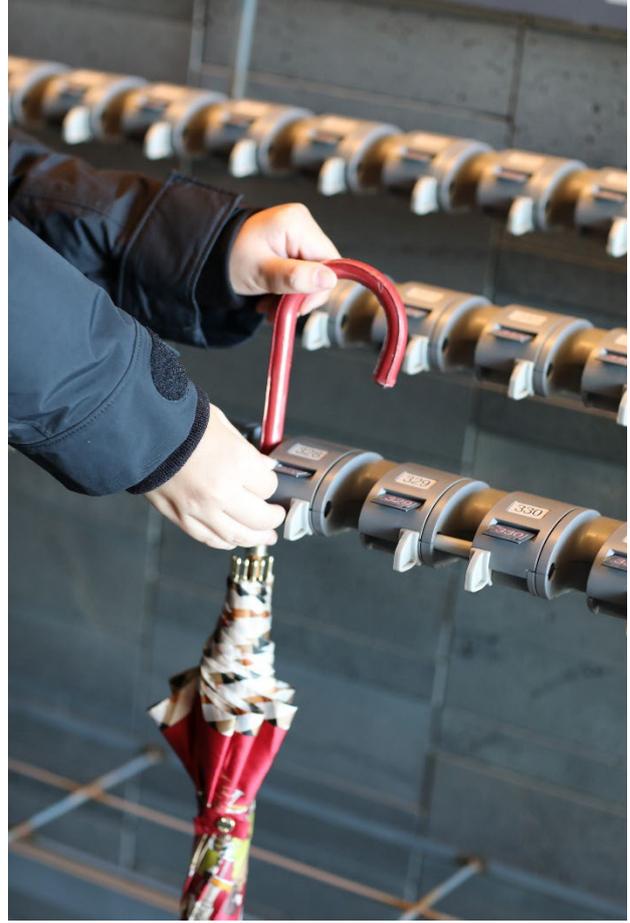
はくぶつかん  
博物館に とうちやく  
到着！



ウポポイの にゅうじょうぐち 入場口を とお 通ると め まえ 目の前に み 見える

おお 大きな たてももの 建物が こくりつ 国立アイヌ民族博物館 みんぞくはくぶつかん です。

## かさを あずけます



かさを <sup>も</sup> 持っていたら <sup>はくぶつかん</sup> 博物館に <sup>はい</sup> 入る前に  
かさを <sup>た</sup> 立てに <sup>い</sup> 入れます。

かさを <sup>い</sup> 入れたら かぎを とります。  
かぎは <sup>い</sup> なくさないように します。

かさを <sup>も</sup> 持って <sup>はい</sup> 入ると <sup>てんじひん</sup> 展示品に かさが <sup>い</sup> ぶつかって  
<sup>てんじひん</sup> 展示品を <sup>い</sup> きずつけてしまうことが <sup>い</sup> あるからです。

はくぶつかん  
博物館の なか には 入ります



いりぐち  
入口では エカシ像が おかえてくれます。

エカシは アイヌ語で おじいさん という 意味です。

はくぶつかん  
博物館の なか には 混んでいたり さわがしいことも あります。

ひと  
人に ぶつかったり 転んだりすると ケガを するので

ゆっくり 歩きます。

た の  
食べものや 飲みものは

カバンの なか  
中に しまいます



た の むし だいこうぶつ  
食べものや 飲みものは 虫の 大好物です。

むし だいじ てんじひん た  
虫は 大事な 展示品も 食べてしまいます。

むし こ た の  
虫が 来ないように 食べものや 飲みものは

カバンの なか  
中に しまいます。

## カバンや コートなどを あずけます



コインロッカーに カバンや コートを あずければ

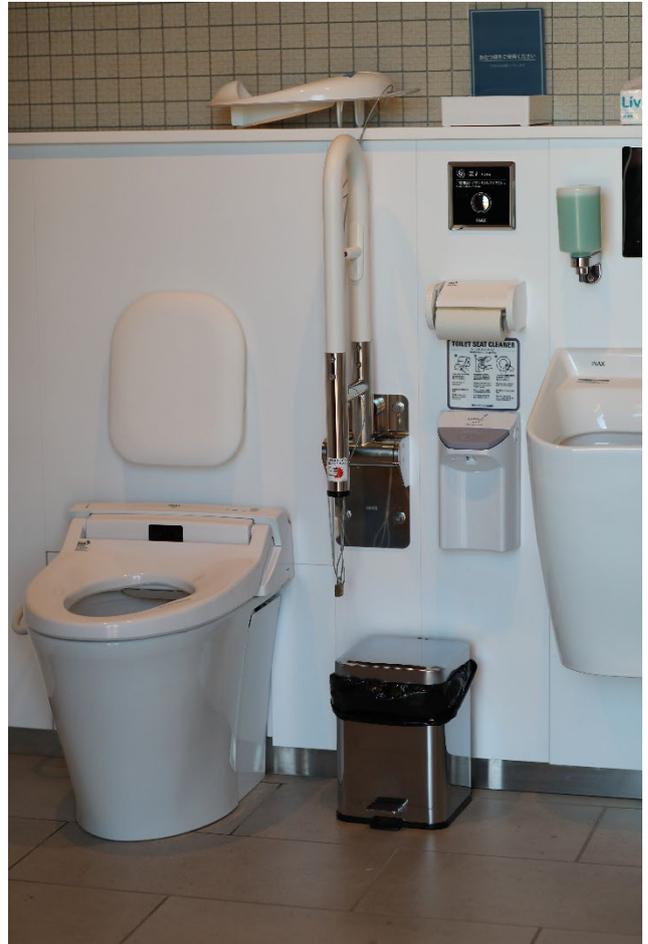
荷物<sup>にもつ</sup>が 軽<sup>かる</sup>くなって 動き<sup>うご</sup>やすいです。

コインロッカーは 100円玉<sup>えんだま</sup>を 入<sup>い</sup>れて かぎ<sup>かぎ</sup>を かけます。

100円玉<sup>えんだま</sup>は かぎ<sup>かぎ</sup>を あけると もど<sup>もど</sup>ってきます。

帰<sup>かえ</sup>るまで かぎ<sup>かぎ</sup>を なくさないようにします。

## トイレに 行きたくなったら



トイレに 行きたくなったら 近くの トイレに 行きます。

トイレは 1階にも 2階にも あります。

くるま 車で はい 入ることができる ひろ 広いトイレ (多目的トイレ) も あります。

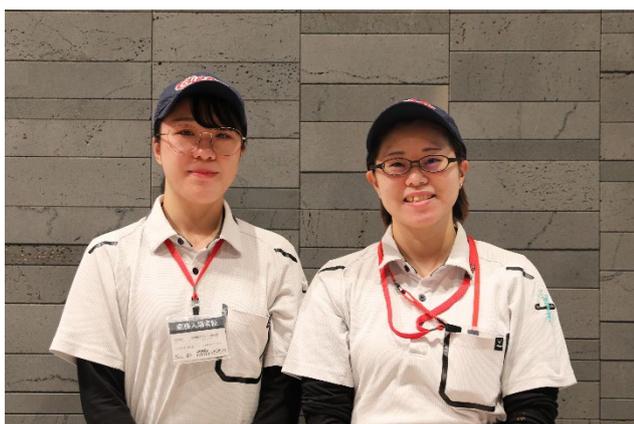
## わからないことは スタッフに ききます



うけつけ あんない  
受付・案内スタッフ



がくげい  
学芸スタッフ



せいそう  
清掃スタッフ



けいび  
警備スタッフ

はくぶつかん  
博物館では わたしを おかえてくれる

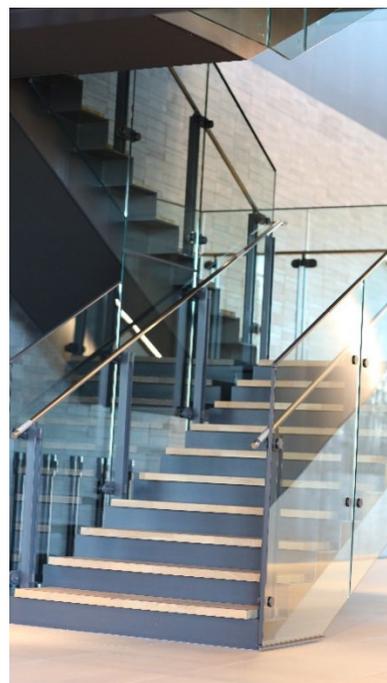
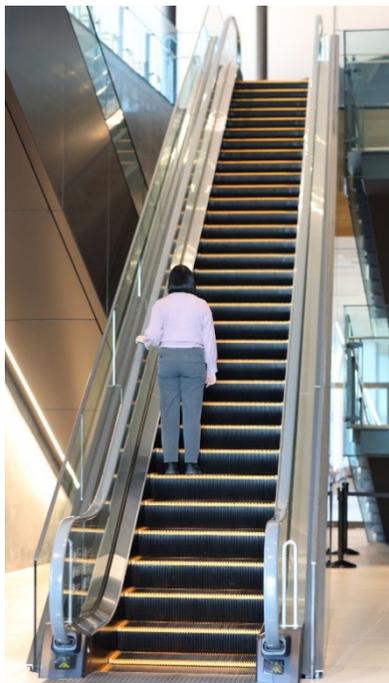
いろんな スタッフが はたらいています。

わからないことや こまったことが あったら

スタッフに ききます。

よろこんで てっだ  
手伝ってくれます。

## かい 2階に いきます



てんじしつ  
展示室が ある かい 2階へ いきますときは

エスカレーターか エレベーターか かいだん 階段を つか 使って

のぼ  
上ります。

ながめを <sup>たの</sup> 楽しみます



<sup>かい</sup> 2階に <sup>あ</sup> 上がると <sup>おお</sup> 大きな <sup>かべ</sup> ガラスの壁で <sup>できた</sup> できた  
<sup>ひろ</sup> 広い <sup>ばしょ</sup> 場所が <sup>あります。</sup> あります。

きれいな <sup>たの</sup> ながめを <sup>楽しむ</sup> 楽しむことが <sup>できます。</sup> できます。

<sup>きほんてんじしつ</sup> 基本展示室は <sup>おく</sup> 奥に <sup>あります。</sup> あります。

<sup>きょう</sup> 今日 <sup>い</sup> は <sup>ここに</sup> ここに <sup>いきます。</sup> 行きます。

基本展示室に 入ります



わたしは 暗い トンネルの 中に 入ります。

トンネルの 中では 映像で いろんな人が  
あいさつを してくれます。

トンネルを ぬけると 大きな 部屋が あります。

ここが 基本展示室です。

展示室の 中は 少し 暗いです。

光に 弱い 展示品を 守るためです。

## てんじしつ 展示室では ルールを まも 守ります



はし 走らずに ある 歩きます。

ほか ひと 他の人や てんじひん 展示品にぶつかって

けがを するかもしれないからです。

てんじひん 展示品には さわりません。



さわって よごれたり こわれたり すると

みんなが み 見ることが できなくなるからです。

メモを と 取るときは



えんぴつか シャープペンを つか 使います。

ボールペンの インクで てんじひん 展示品を

よごしてしまうことが あるからです。



てんじひん 展示品の しゃしん 写真を とることが できます。

フラッシュは つか 使えません。

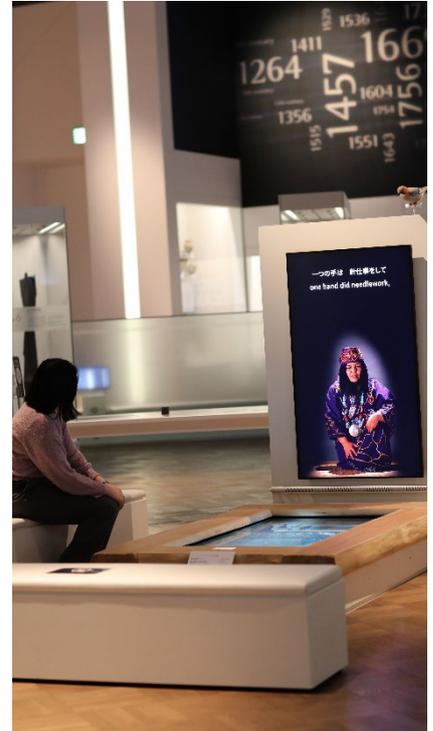


この マークが ある てんじひん 展示品は 写真を とれません。



どうが 動画は とれません。

てんじ      み  
 展示を      見ます



てんじしつ      ひろ  
 展示室は      広いです。

アイヌ民族や      ほかの民族が      つくった

むかし      どうぐ      いま      さくひん  
 昔の      道具や      今の      作品などが      たくさん      あります。

えいぞう      み  
 映像を      見ることも      できます。

## テンパテンパで さわったり できます



さかな 魚を とる 道具を 使う



くびかさ 首飾りをつくる

テンパテンパは アイヌ語で さわってね という 意味です。

てんじしつ 展示室の なか に 3か所 あります。

ここでは いろんな 道具や ものを さわることも できます。



くつをぬぐ



ぬいぐるみにやさしくさわる

テンパテンパには <sup>いりぐち</sup>入口で くつをぬいで

<sup>たいけん</sup>体験する ところも あります。

ぬいぐるみには やさしく さわります。

<sup>ほか</sup>他の <sup>ひと</sup>人が <sup>つか</sup>使っていたら <sup>お</sup>終わるまで <sup>ま</sup>待ちます。

<sup>お</sup>終わったら もとの <sup>ばしょ</sup>場所に もどします。

つかれたら <sup>やす</sup>休みます



<sup>かい</sup>2階の <sup>てんじしつ</sup>展示室の <sup>そと</sup>外の いす



<sup>かい</sup>1階の ミュージアムショップの <sup>ちか</sup>近くの いす

つかれたら <sup>はくぶつかん</sup>博物館の いろんな ところに ある

いすに <sup>すわ</sup>座って <sup>やす</sup>休みます。

ほか 他にも いろいろな 場所が あります



とくべつてんじしつ  
特別展示室



ミュージアムショップ



ライブラリ



シアター

みじか きかん てんじ  
短い 期間だけの 展示も あります。

とくべつてんじしつ  
特別展示室で やっています。

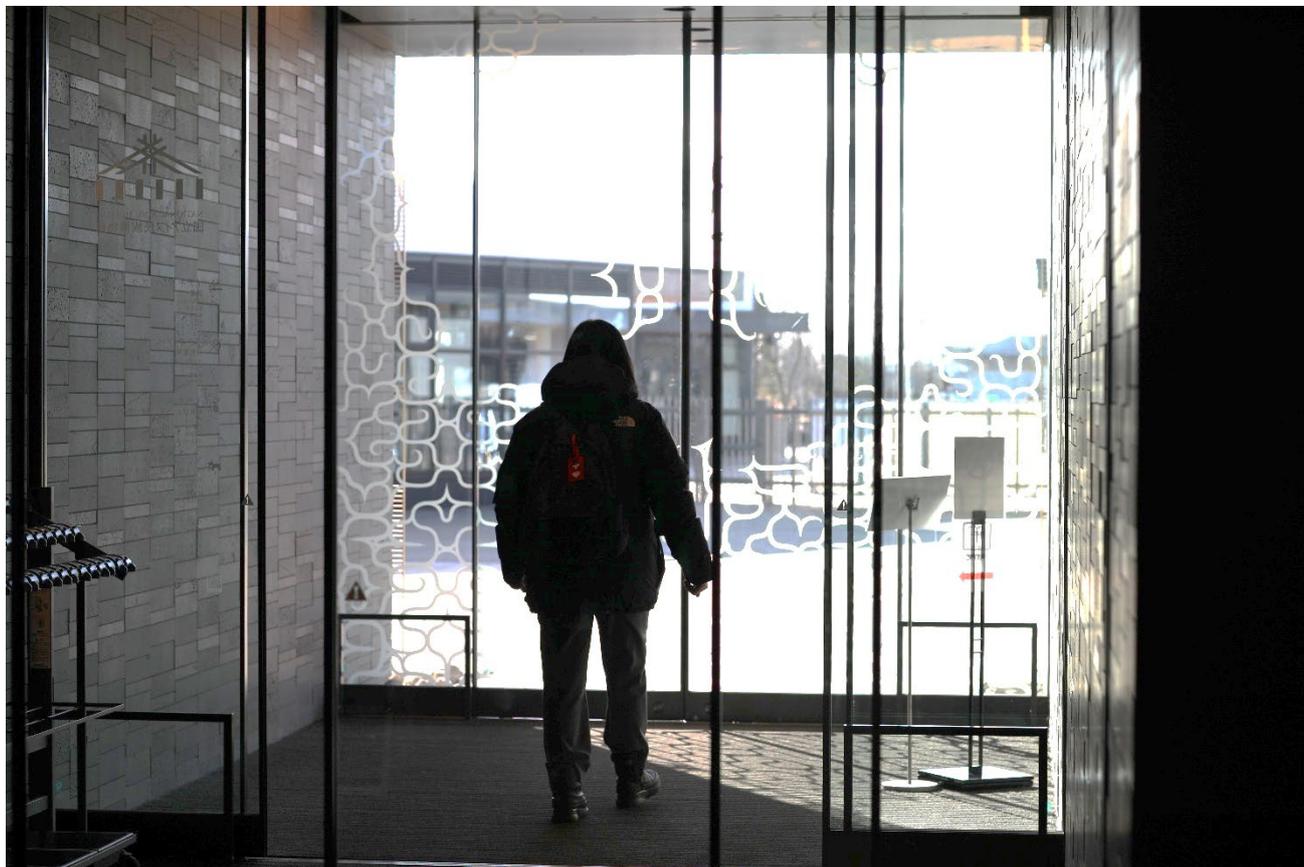
きねん みやげ か  
記念に お土産を 買いたいときは

ミュージアムショップに 行きます。

ほん よ とき  
本が 読みたい 時は ライブラリに 行きます。

えいぞう み  
映像を 見ることも できる シアターも あります。

はくぶつかん  
博物館から 出ます



あずけておいた カバンなどが あれば 取りに 行きます。

コインロッカーでは 100円玉も わすれずに 取ります。

かさも わすれずに 取ります。

でいりぐち 外に 出ます。

# ウポポイを <sup>たの</sup>楽しみます



でんとうてき  
伝統的コタン



こうぼう  
工房



たいけんこうりゅう  
体験交流ホール



ゆみや  
弓矢

ほか <sup>ほかに</sup> ウポポイでは いろんな <sup>たいけん</sup>体験が できます。

ウポポイで <sup>いちにち</sup>一日 <sup>たの</sup>楽しむことができます。

わからないことが あるときは、ウポポイに れんらく 連絡します。

ウポポイ

でんわ  
電話 0144-82-3914

じゅうしょ  
住所 〒059-0902

ほっかいどうしらおいぐんしらおいちょうわかくさちよう ちようめ  
北海道白老郡白老町若草町2丁目3

ホームページ <https://ainu-upopoy.jp/>

とあ  
お問い合わせフォーム

<https://form.ainu-upopoy.jp/form/pub/ainu-upopoy/toiawase>



ホームページ



とあ  
お問い合わせフォーム

メモ



NATIONAL AINU MUSEUM  
国立アイヌ民族博物館

国立アイヌ民族博物館 あんしんガイド

企画・編集：国立アイヌ民族博物館 研究学芸部

発行：国立アイヌ民族博物館

協力：九州国立博物館

社会福祉法人白老宏友会

社会福祉法人ホープ・フロンティア

白老町教育委員会

発行日：2026年2月25日

このガイドは、  
第10回テーマ展示「ケレヤン、ヌカラヤン、ヌヤン さわる、みる、きく 国立アイヌ民族博物館 2」の  
一環として作成されました。